

こんなときは
要注意!

病気の早期発見 チェックリスト



愛犬たちは、「おなかが痛い」「なんだか熱っぽい」など、私たちに様々な形で体調の変化を発信しています。そのサインにいち早く気づいてあげられるのは、飼い主のあなたしかいません。毎日の暮らしのなかで、いつもと違う様子が見られたり、気になることがあれば、どんな些細なことも安易に考えず、できるだけ早く動物病院で相談してみましょう。

1 食欲はどうですか？

- 食べない。急に食欲がなくなった。(いつもと同じだけあげているのに、残してしまう)
- 偏食が多くなった。(以前はふつうに食べていたものを食べなくなった)

2 体型はどうですか？

- 太ってきた。
- やせてきた。(よく食べるのに、やせてきた)
- おなかが膨れてきた。
- 身体の一部が腫れている。

3 散歩のときは？

- 歩くのがつらそう。
- 散歩に行きたがらない。
- 元気がない。
- 歩き方がいつもと違う。

4 目はどうですか？

- 目ヤニが出る。
- 目をつぶる。(まぶしそうにする)
- 目(結膜)の色が赤い。
- 目の表面(角膜)が白く見える。
- 目の内側(水晶体)が白く見える。
- 目をかゆがり、こする。

5 口や歯の様子は？

- よだれが出る。口を閉じない。
- 食べたそうにするのに食べられない。
- 出血している。
- 口臭がひどい。
- 歯が抜ける。(乳歯以外)
- 歯が重なって2重にはえている。
- 歯茎や舌の色が悪い。(白くなっている)

6 毛や皮膚は？

- 毛の状態がおかしい。(毛が一部分だけ抜けていたり、不揃いになっている)
- かゆがっている。
- 虫(ノミやダニなど)がついている。
- 皮膚が赤くなっている。
- 皮膚がただれている。
- フケが多い。

7 耳はどうですか？

- 耳をかく。(かゆがる)
- 耳の中が臭い。
- 頭をしきりに振る。
- 耳の中が汚れている。

8 便の様子は？

- 血が混じっている。
- ゆるい。(便が軟らかい)
- 下痢をしている。
- 便が出ない。(便秘をしている)

9 尿の様子は？

- おしっこのおかしい。(赤い、白っぽい、黄色い、など)
- 出ない。少ない。(出そうとしているのに出ない)
- いつもはちゃんと決められたトイレするのに、違う場所で排泄したり、もらしてしまう。
- においがきつい。

10 その他、こんなことにも 気をつけましょう

- 水をよく飲むようになった。
- 吐く。
- 体的一部分をしきりになめる。
- 咳をよくする。
- お尻をこすりつける。
- 鳴き声がおかしい。
- よだれが出る。(よだれが止まらない。悪臭があったり血が混じっている。あぶく状になっている)